

時間を作りリフレッシュ

朝の情報番組「めざましテレビ」の出演がある日の起床は午前3時。5時にはスタジオ入りします。曜日によって番組収録があったり、ロケに出たりでスケジュールが全然違います。先輩たちの仕事ぶりを見ていて、プライベートは全くないのではと覚悟していましたが、意外と時間は作ろうと思えば作れます。家にいるよりは、なるべく友達と会ったり同期とご飯に行ったりしてリフレッシュしています。

会話の流れを大切に

取材は、めざましテレビや映画コーナーなどの芸能関係が中心です。日々、いろいろな人に会い、様々な世界を見るのが楽しいです。思わぬところで刺激を受けることも多いですね。取材を通じ、どんどん興味がわいてきます。一番緊張するのはインタビューのとき。初めてのときは最悪でした。俳優さんに対して質問案を用意していたのですが、緊張で一問一答みたいになってしまい、自然な会話にはならず…。それから、相手をリラックスさせようと思ひ、質問案は「お守り」程度で、会話の流れを大切にしています。



生放送中に残り時間を間違えて話している途中で切れてしまったり、食べ物のレポートでのごに詰まらせてレポートできないなど、まだまだ失敗だらけ。もっと細かいことも気にしてしまうタイプだったのですが、「反省はしなきゃいけないけど、落ち込んじゃダメ」と先輩からアドバイスを受けたのをきっかけに、常に前向きでいるよう努めています。

テレビの力を実感

カメラの前では私らしくいることを心がけています。入社したての頃は「私の個性ってどうやって出せばいいんだろう」と考えていました。なかなか答えが見つからないでいた時、社内研修で「自分に正直でいることが個性」と教わり、ハツとしました。個性をどうやって出すか考えている時点で「作り物であって私ではなかったのです。それからは「自分が楽

しもう」と思えるようになりました。周りのみんなも「山崎はそのままがいいよ」と言ってくれています。

アナウンサーは「伝えたいこと」と、視聴者の間に立つ人だと思っています。バラエティーでいえば面白さを、報道ではニュースを視聴者に届けるお手伝いをする役目。テレビを楽しんでもらうための架け橋のような存在です。そんなお手伝いの場に立てることは本当に幸せです。7月に放送された「27時間テレビ」では、みんなを笑顔にできるテレビの力の大きさを実感し、初めて感動で泣いてしまいました。今は目の前のことだけに必死ですが、どんな現場にも対応できるように、いつか27時間テレビの進行役のポジションにつくのが夢です。

画面を通していい影響を

こちらでは岡大出身は珍しく、イジられることもしばしば。でも、最近ではフジテレビのアナウンストレーニングを受けに岡大の学生が来てくれるようになったと聞き、嬉しくなりました。私が画面を通して何かいい影響を与えられ、いろいろな事に挑戦する岡大生が増えてくれれば幸せだなと思っています。

カメラの前では私らしく

卒業生 その人に聞く

山崎 夕貴

YAMASAKI
Yuki

やまさき ゆき (24歳)

- ▶1987(昭和62)年生まれ。岡山県倉敷市出身
- ▶2007(平成19)年 第25代倉敷小町(親善大使)を務める
- ▶2010(平成22)年 岡山大学経済学部卒
- ▶2010(平成22)年 フジテレビジョン入社

フジテレビジョン編成制作局

アナウンス室アナウンサー × 岡山大学経済学部卒

岡山大学出身者として初めて在京キー局にアナウンサーとして入社。

1年目で、情報番組のキャスターに抜擢される。

2011年4月からは「めざましテレビ」(木・金曜日)のレギュラーに。

「めざましどようび」も担当。